

さきもり隊、出動

別所自治会さきもり隊



地元住民と汗を流す さきもり隊員たち

まちづくり町民会議有志らによるボランティアグループ「ジゲの防人隊」の第2回の作業が、7月10日、別所地内で行われました。

当日は、町民会議委員と学生ボランティアら30人が参加、別所地区の皆さんと協力し合いながら、地区内の草刈りなどに汗を流しました。

作業の後は、地域の皆さんの手作りカレーを食べながら、交流を深めました。

■さきもり隊 派遣要請など
お問合せは、
役場企画政策課
(電話72・03332) まで
お電話ください。

まちの話題

たくさんとれたよ

ひのっこ保育所

じゃがいも掘り

7月16日、ひのっこ保育所でじゃがいも掘りがありました。

年長児から年少児まで22人が園内に作られた畑で一生懸命、掘りました。ひのっこ保育所では食育の取り組みとして、種から育てる菜園活動を行っています。この畑は今年、保護者会が広くし、とうもろこしなどの夏野菜を育てています。

掘ったじゃがいもは、午後のおやつ、のほほ焼しにし、みんなで収穫の喜びを味わいました。



大きく育ったじゃがいもにびっくり

歌声を通してふれあう

日野川合唱フェスティバル

日野川流域で活動する合唱グループが集まり、日ごろの練習の成果を発表する「日野川合唱フェスティバル」(日野川合唱連盟主催)が、7月19日、町文化センターホール森の音楽隊で開かれました。

日野町の小学生による合唱グループの子合唱団のかわいい歌をはじめ、日南町から伯耆町までの8つの合唱団が美声を披露しました。女性の華やかな歌声と男性の力強い歌声のハーモニーに満員の聴衆は聞き入っていました。

今回は特別出演として、神戸市の女声合唱団「麦の会」が4曲を披露。参加者と聴衆は歌声を通してふれあい、心地よい時間を楽しみました。



息の合ったコーラスが聴衆を魅了する

思いを伝える

知事が町を訪問

7月23日、平井伸治鳥取県知事が日野町を訪問し、鳥取力創造「伸びのびトークIN日野町」が役場大会議室で開かれました。

意見交換会に先立ち、知事は黒坂を視察。黒坂鏡山城下を知ろう会の会員に、鏡山城址の様子や泉龍寺で因幡二十士の遺品などについて説明を受けました。

知事を囲んだ意見交換会では、はじめに、町内で地域資源を生かしたり、ボランティア活動でまちづくりを進めている団体や個人が活動状況を紹介。さらに、まちづくりに対する熱い思いを語り合いました。



黒坂鏡山城址を視察する平井知事



ラフティング初体験で大興奮

日野川の自然を満喫

日独交流事業

今年で36回目となる、日本とドイツの高校生が交流する取り組みが全国で開かれ、7月26日、ドイツ団10人が日野町を訪れラフティングを体験しました。

まず、景山町長が「前日の雨で川は濁っているが、ラフティングを楽しんでほしい」と歓迎のあいさつをし、一人一人に記念品を渡しました。また、ドイツ団の代表が「心配したが天候に恵まれた。ぜひ、ラフティングを楽しみたい」とあいさつしました。歓迎セレモニー後、一行はD.O.Sポーツラフティング部の指導を受け、下黒坂から根妻までの日野川をラフティングで下り、川面から見る景色を楽しみながら、交流を深めました。



鮎がつかめたよとにっこり

元氣なアユに大はしゃぎ

ひのっこ保育所鮎つかみ

7月27日、ひのっこ保育所プールで鮎つかみがありました。今年と同保育所の保護者会がアユつかみをぜひ体験させたいと保護者会費で約200匹を準備しました。年長児から年少児はプールの中を悠々と泳ぎ回るアユを見て大興奮。プールに入ると、すばやく動くアユを一生懸命追いかけていました。見事、つかんだ子どもたちは、逃がさないようしっかりと抱えていました。つかまえたアユは、塩を使い、その場で生け締めにし、早速お昼から揚げにして食べました。

元氣良く

火災防止を呼びかけ

野田自治会夜回り

野田自治会では、火災を防止しようと、子どもたちが夏休み期間中の毎週木曜日午後8時から夜回りをしています。

7月29日、野田みちくさの館に大人と子ども20人が集まり、2組に分かれた後、拍子木を打ちながら「火の用心、マッチ一本火事のもと」と呼びかけて、自治会内を歩きました。子どもたちの元氣な声に大人たちも元氣をもらったようでした。今年で5年目になる夜回りは、毎年、野田青年会（長住俊幸代表）と野田子ども会（山本香織代表）が協力して行っています。



子どもたちの元氣な声が野田全体に響く

コミュニティ備品を活用し

映画などを楽しむ 真住公民館ほか教室



今回購入した卓球台で体を動かす

8月7日、真住公民館でほかほか教室が開かれました。

この日は、景山町長のまちづくり講座のほか、映画会、卓球教室、グラウンドゴルフで和やかに。真住公民館はコミュニティ助成事業で、テントやグラウンドゴルフの道具、卓球台とラケット、映写幕とプロジェクターなどを購入。館長の山川茂樹さんは「この助成事業で多くの備品を購入することができた。どんどん使って公民館活動を活性化させたい」と豊富を語りました。

この助成事業は、（財）自治総合センターの宝くじ普及広報事業の一環で、宝くじの受託事業収入が財源です。